

(お知らせ)

定期検査中の福島第二原子力発電所4号機における警報の発生について

平成17年6月8日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

当所4号機（沸騰水型、定格出力110万キロワット）につきましては、平成17年3月20日より定期検査を実施しておりますが、本日、中央制御室内においてタービン主蒸気止め弁^{*1}の作動試験を実施していたところ、午前10時4分、「主蒸気隔離弁トリップ論理作動」^{*2}警報が発生し、原子炉格納容器内の主蒸気隔離弁が閉動作いたしました。（添付「概略系統図」参照）

原因は、当該試験を行う際には警報を発生させないような処置を施しますが、この処置が行われていなかったためと推定しており、今後詳細については調査いたします。

なお、プラントは停止中であり、安全は確保されております。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以上

*1：タービン主蒸気止め弁

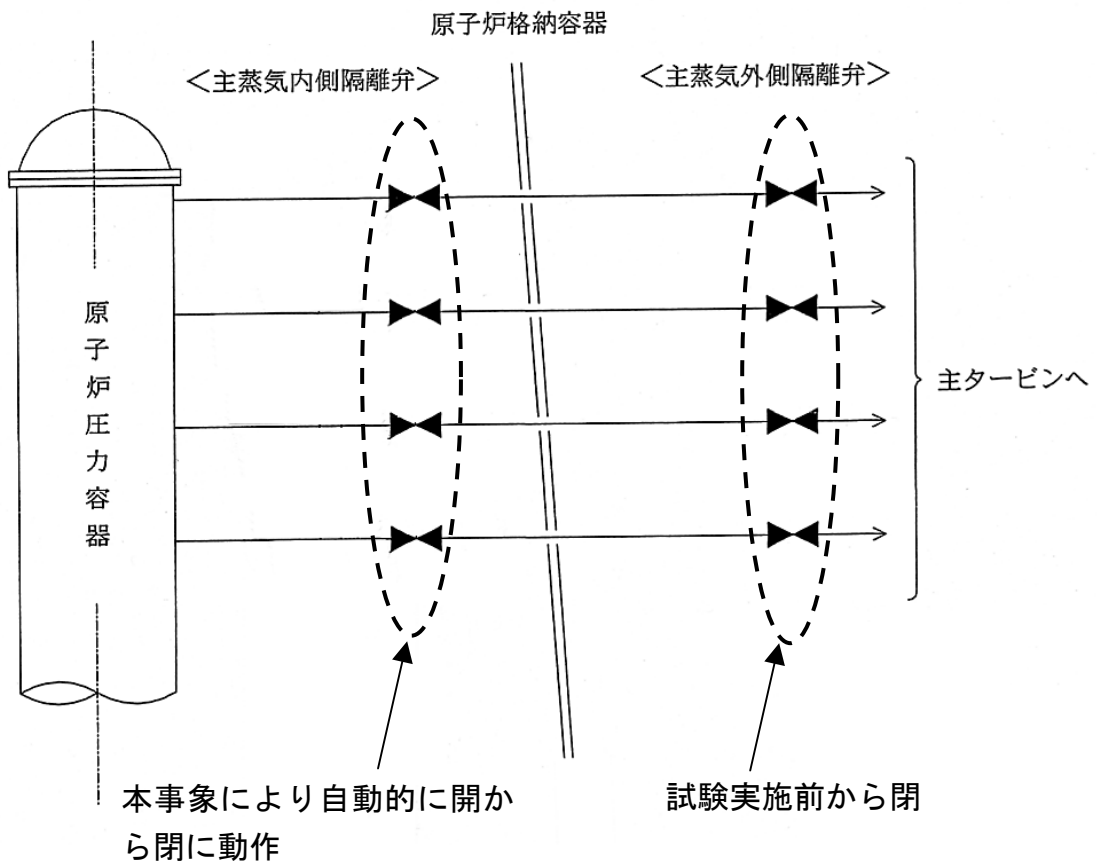
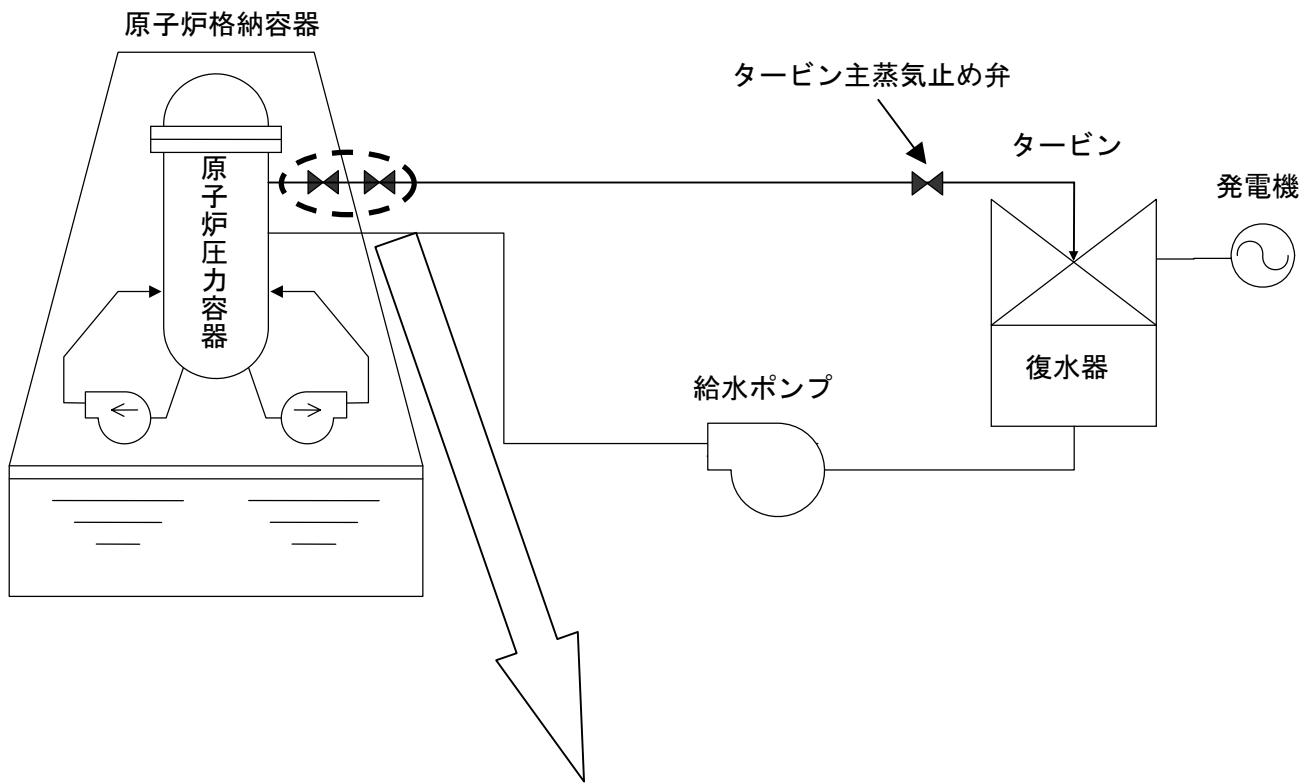
タービンの入口に設置され、緊急時に蒸気がタービンへ流入することを遮断する弁。

*2：主蒸気隔離弁トリップ論理作動

主蒸気隔離弁は主蒸気配管の格納容器貫通部に設置している弁で、これらの弁を閉める論理回路が作動したときに発生する警報。

(お問い合わせ先)

福島第二原子力発電所
広報部
TEL0240-25-1353



概略系統図